

平成30年度

# 福井県教員育成指標 研修計画概要

福井県教育委員会

福井県教育総合研究所

## 目 次

1	福井県教員育成指標	1
	(1) 福井県教員育成指標とその活用について	1
	(2) 福井県教員育成指標	3
2	平成30年度 福井県教員研修のポイント	8
3	基本研修・職務研修	9
	初任者研修	10
	2年目研修	17
	3年目研修	19
	中堅教諭等資質向上研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	21
	ミドルリーダー養成研修	25
	マネジメント研修	26
	新任教頭研修	27
	新任校長研修	28
4	基本研修で実施する教科別研修および通信型研修	29
5	新しい教育課題への対応	31
6	教育庁各課の研修	32
7	自主研究活動の活発化	38
8	研修受講の促進	39

福井県教員育成指標（全体版）

# 1 福井県教員育成指標

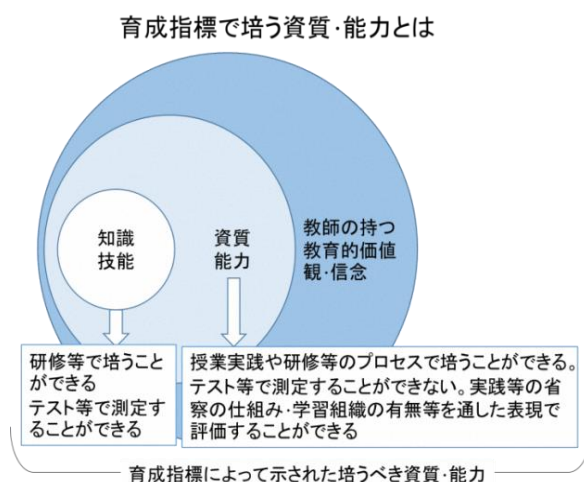
## (1) 福井県教員育成指標とその活用について

### 1 福井県教員育成指標の基本的な考え方

- ・知識基盤社会に突入し、産業構造が大きく変化する中で、これからの社会で求められる人材像を踏まえた教育の展開や、学校現場の諸課題への対応力を図るためには、教員は向上心を持ち、学び続けることが必要である。
- ・福井県においても、教員は採用時から教職生活全体を通じて「学び続ける人」であることを求めており、その具体的な姿は次の通りである。
  - 校種・教科等に関する専門的知識・実践的技能を持った人
  - 専門分野に偏らない幅広い教養を身につけ、自立した社会人としての良識や幅広い視野を持った人
  - 子どもたちはもとより、同僚や保護者、地域社会と円滑な人間関係を築き、課題に対して臨機応変に対応できる人
  - 教育に対する情熱・使命感に燃え、常に学び続ける向上心を持った人

- ・そこで県では、福井県教員育成指標（以下「指標」という。）を示し、これからの教員に求められる資質・能力を具体的に例示した。示した資質・能力は、研修等で直接習得することのできる知識・技能と、直接的な教示では習得が難しい、授業や研修のプロセスの中で培われる資質・能力とから構成されている。

- ・特に、直接的に教示することでは習得が難しい資質・能力の中には、次期学習指導要領が示す「思考力・判断力・表現力」のように知識・技能の習得に関連して培われるものもあれば、「学びに向かう力」のように教員の持つ教育的な価値観や信念との関連の中で育まれるものもあり、その幅は広い。（右図参照）

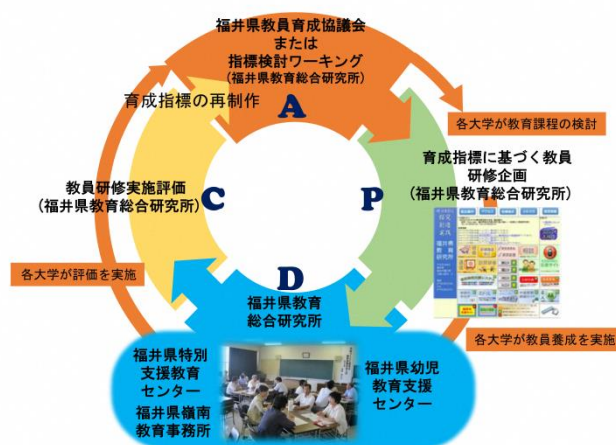


- ・教員の資質・能力を育成するためには、研修の中で習得される最新の教育情報や知識・技能が、日々の実践の中で再確認されることが必要である。そのためには、それぞれの研修の中で、個々の実践に基づく振り返りの機会や、研修参加者が自分の実践と自らの教育的価値観等と突き合わせる機会を設けるとともに、研修相互の関係を明らかにした一体的な研修体系にすることが不可欠である。

- ・指標で示したステージは、採用時よりおよそ10年ごとを目安として設定している。まず、「福井県が求める採用時の姿」では、次期学習指導要領への対応や、大学の養成段階において国が示している教職課程コアカリキュラムの内容を反映して、「主体的・対話的で深い学び」、「小学校外国語教育」への対応や「学校インターンシップ」の実施等を求めている。
- ・その上で、第1ステージは、「教職の基礎を固める時期」、第2ステージは「専門性を高め、ミドルリーダーとして学校組織内の中心となって推進する時期」、第3ステージを「豊富な経験を生かし、シニアリーダーとして広い視野で組織的な運営を行う時期」として位置づけた。
- ・それぞれのステージでは、そのステージに応じて身に付け、発揮されるべき資質・能力がある。例えば、管理職になれば、若手を育成する能力、危機管理能力などは欠かせない能力であるが、このような能力は、管理職段階になって急に育成されるものではない。初任段階からの道のりの中で習得された知識・技能を基に、絶え間ない振り返りを繰り返すことで、資質・能力として身につくものである。

## 2 福井県教員育成指標の活用について

- ・今回示した指標を活用することによって、教員それぞれの適性や状況と、求められる資質・能力の関係を把握することができる。また、指標で示されたキャリアステージと資質・能力の関係を踏まえて、一人ひとりの教員が他者の実践事例も学ぶことで、他者の経験を自己の経験に意味づけて膨らませながら自らのPDCAサイクルを回すことができる。



- ・また、学校や研修における教員の資質・能力の育成のためのPDCAサイクルの成果は、絶えず育成指標の再構築に結びつかなければならない。そのためには県教育総合研究所を中心に、教員研修を行う各機関や各大学が、年度ごとに指標に基づいた研修成果の検証を行うとともに、その検証に基づいて次年度の教員研修計画の作成と育成指標の見直しを組織的に行うこととする。（上図参照）
- ・指標を一つの指針として、関係機関が連携して学校の教員集団を学び合う専門職集団にすることが、直接的に教示のできない教師の資質・能力を培う基盤となる。

(2) 福井県教員育成指標

# 福 井 県 教 員 育 成 指 標

## 福 井 が 求 め る 教 師 像

校種・教科等に関する  
専門的知識・実践的技能  
を持った人

専門分野に偏らない幅広い教養を  
身につけ、自立した社会人としての  
良識や幅広い視野を持った人

子どもたちはもとより、同僚や家庭、  
地域社会と円滑な人間関係を築き、  
課題に対して臨機応変に対応できる人

教育に対する情熱・使命感に  
燃え、常に学び続ける  
向上心を持った人

ステージ 資質・能力	福井県が求める 採用時の姿	第1ステージ	第2ステージ	第3ステージ
		教員としての基盤を固める	中堅教員・ミドルリーダーとして 教育活動を牽引する	経験を生かして指導・助言し、 組織的な運営をする

1 素 養	教育的愛情 使命感	・教職への情熱 ・子どもに対する愛情	・教職に対する使命感、誇り、責任感 ・子どもの個性を尊重し、豊かな人間性 を育む熱意	・学校教育を牽引する使命感、責任感	・組織的な運営を行う使命感、責任感 ・学校運営に積極的に参画する責任感
	倫理観 人間性 社会性	・高い人権意識 ・豊かな人間性、広い視野 ・社会人としての一般常識	・確かな人権感覚、子どもの模範となる倫理観 ・人間的な魅力の涵養、信頼関係の構築(子ども、教職員、家庭、地域社会 など) ・謙虚な姿勢、法令の遵守、サービスの誠実かつ公正な遂行		
	コミュニケーション力	・他者との意思の疎通と協働	・同僚性の構築、よりよい教育の実現に向けた教職員間の意思の疎通と共通理解、合意形成の推進 ・子ども、家庭、地域社会などとの円滑な意思の疎通		
	学び続ける力 探究心	・学びの専門家としての学び続ける意欲 ・多様な社会体験への挑戦	・自ら学び続ける基盤の構築(課題の発見-解決の努力-省察する力) ・自主的な協働研究への積極的な参画	・専門性の深化とキャリアアップ ・学校内や専門分野における研究の牽引 ・若手教員の指導への積極的な関わり	・自らの実践の深化と改善 ・学校内や専門分野の組織的な研究の運営 ・教職員の資質・能力を高める指導、助言

資質・能力	ステージ	福井県が求める採用時の姿	第1ステージ	第2ステージ	第3ステージ
			教員としての基盤を固める	中堅教員・ミドルリーダーとして教育活動を牽引する	経験を生かして指導・助言し、組織的な運営をする

2 指導力	(1) 学習指導	教科等の専門性	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科等を学ぶ意義の理解</li> <li>教科等で培う力の把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科等の専門性の向上</li> <li>教科等の多面的・多角的な視点での研究の推進</li> <li>保・幼・小・中・高を通じた学びの接続の視点での研究の推進</li> <li>子どもの主体的な学び、確かな学力、生きる力の追究</li> </ul>			
		授業力	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科等の基礎的な指導力</li> <li>主体的・対話的で深い学びへの理解</li> <li>探究的な学びの計画、立案</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科等の特性や本質の理解</li> <li>ユニバーサルデザインの視点を取り入れた楽しくわかる授業</li> <li>主体的・対話的で深い学びへの工夫</li> <li>指導と評価の一体化に基づく実践</li> <li>子どもの学びの見取りの意義と実践</li> <li>ICT機器の積極的な活用</li> <li>校内研究への主体的な取り組み、積極的な授業公開の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>省察をもとにした授業改善</li> <li>教科等の特性や本質の追究</li> <li>多様な授業形態の工夫</li> <li>主体的・対話的で深い学びの実現</li> <li>教科等横断的なカリキュラムデザイン</li> <li>校内研究の中核として授業実践を牽引</li> <li>若手教員への授業力を高める指導、助言</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広い視野での授業改善</li> <li>教科等の特性や本質を理解した実践</li> <li>資質・能力を培う授業の提案</li> <li>主体的・対話的で深い学びの深化</li> <li>学校全体の授業力向上に係る企画</li> <li>学校内の中心で示範となる授業実践の推進</li> <li>校内研究の中心として組織を運営</li> <li>学校内外の教職員への指導、助言</li> </ul>	
		福井の教育力を支える研究・連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>福井の教育の特長の理解</li> <li>ふるさと福井を大切に思う心</li> <li>小学校外国語を指導する力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりの子どもの力を育成するための授業の実践的研究、協働による研究体制、同僚性の構築</li> <li>縦もち教科担任制の運営、教科の学びの系統性の構築</li> <li>保・幼・小・中・高の接続を重視した福井型18年教育の推進</li> <li>自主研究会への主体的な参画</li> <li>教員間の世代間交流による優れた教育力の継承</li> </ul>			

資質・能力	ステージ 福井県が求める 採用時の姿	第1ステージ	第2ステージ	第3ステージ
		教員としての基盤を固める	中堅教員・ミドルリーダーとして 教育活動を牽引する	経験を生かして指導・助言し、 組織的な運営をする

2 指 導 力	(2) 生 徒 指 導	幼児・児童・ 生徒理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの理解の重要性の認識</li> <li>子どもの発達段階への理解</li> <li>一人ひとりに向き合う意識</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの個性、特性の理解</li> <li>認め合い高め合う学級経営の実践</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学級および学年全体の子どもの理解</li> <li>学年の生徒指導の中核として、子どもの個性、特性に応じた諸課題への対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>組織的な学年経営と学校全体の子どもの理解</li> <li>子どもの個性、特性に応じた組織的な生徒指導の企画、運営</li> </ul>
		問題行動へ の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>個や集団への指導と手立ての理解</li> <li>一人ひとりの子どもに寄り添う態度、子どもの声に対する傾聴</li> <li>多様な子どもに対する寛容の心と態度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの個性、特性に応じた指導、支援</li> <li>子どもの特性を理解した原因分析力</li> <li>学校の生徒指導の方針に対する理解</li> <li>報告・連絡・相談を通じたチームで対応する指導の実践</li> <li>家庭などとの信頼関係の構築、連携・協働</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>チームの中核として子どもへの適切な指導</li> <li>子どもの個性、特性に応じた指導方針を基にチームの中核として集団を牽引</li> <li>若手教員に対する適切な指導、支援</li> <li>家庭、地域社会などとの信頼関係の構築、連携・協働</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>チームの責任者として教職員に対する指導、助言</li> <li>子どもの個性、特性に応じた組織的な指導方針の立案</li> <li>チームの責任者として役割と責任を明確にした組織的な対応の企画・調整</li> <li>速やかな情報の共有と適切な管理</li> <li>家庭や地域、関係機関との連携・協働</li> </ul>
		特別な配慮 への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援教育の基本的な知識</li> <li>発達障害に対する知識、理解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの個性、特性に応じた特別支援教育の理解、実践</li> <li>合理的配慮に対する理解、実践</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの個性、特性に応じた特別支援教育の中核として実践を牽引</li> <li>子どもの個性、特性に応じたキャリア教育の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>チームの責任者として、子どもの個性、特性に応じた組織的な対応の企画・調整と教職員への指導、助言</li> <li>関係機関と協働した課題の改善、解決</li> </ul>



資質・能力	ステージ	福井県が求める採用時の姿	第1ステージ	第2ステージ	第3ステージ
			教員としての基盤を固める	中堅教員・ミドルリーダーとして教育活動を牽引する	経験を生かして指導・助言し、組織的な運営をする

3 マネジメント・人材育成	学年経営 学級経営	・理想とする学級像の形成	・学級目標の達成に向けた子どもたちの協働的な学級づくりの指導 ・スクールプランの達成に向けた教職員の協働的な実践 ・報告・連絡・相談による教職員間の協働	・学年のリーダーとして率先して協働的活動を牽引 ・スクールプランの達成に向けて中核として学校を牽引 ・若手教員の抱える課題の理解、支援	・学級間、学年間の連携を意識した学校経営への参画 ・スクールプランの達成に向けて学年や分掌の責任者としての組織的な運営 ・協働するネットワークの構築と指導、助言
	社会の変化への対応	・学校現場の現状の理解 ・社会情勢に対する理解	・学校の実態、社会情勢の変化、教育改革の動向に対する理解	・学校の実態、社会情勢の変化、教育改革の動向に対する具体的な方策の提案と実践	・学校の実態、社会情勢の変化、教育改革の動向に対する具体的な方策への指導、助言と組織的実践
	学校安全 危機管理	・学校安全、危機管理に関する基礎的な知識、理解	・学級や集団の適切な安全管理 ・勤務校の危機管理体制に対する理解	・学校安全、危機管理に対して中核として対処 ・適切な安全管理、結果を予測した危機管理の徹底	・チームの責任者としての学校安全、危機管理のマネジメント ・学校の事件、事故の対処と未然防止に対する教職員の指導、助言
	人材育成	・様々な課題に対応する力	・学校内外の自主研究への参画	・若手教員に対する指導、助言	・校内研修、自主研究の企画、運営

4 連携・協働	組織における協働	・仲間と協働して、創造する経験 ・協働の良さを子どもに発信する力	・教職員間の同僚性の構築 ・チームで対応することへの理解と実践	・ミドルリーダーとしての自覚と積極的な行動 ・チームの中核として教員集団を牽引してチームで対応する力を向上	・チームの責任者として同僚性が発揮できる職場環境の構築
	家庭や地域社会との連携	・地域社会に貢献する経験 ・地域社会の中で子どもを育成する意義の理解	・家庭、地域社会、関係機関との連携、協働のネットワークの形成 ・家庭、地域社会への積極的な情報発信と良好なコミュニケーションの構築 ・学校内外の諸活動に対する積極的な参画		

5 福井の力	「ふるさと福井」の教育	・「ふるさと福井」への愛着 ・福井の教育をよりよくしていく心と態度	・福井の教育の充実に向けて、「ふるさと福井」を学び続ける態度と自己啓発力の向上 ・「ふるさと福井」独自の教材づくりと活用した授業の実践（「白川文字学」「ふるさと福井の先人100人」「古典音読・暗唱ノート」「郷土新聞」「NIE教育」など）		
-----------	-------------	--------------------------------------	---	--	--



ステージ	管理職	トップリーダーとして教育活動を推進する
------	-----	---------------------

資質・能力					
1 素 養	教育的愛情 使命感 責任感	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来を担う子どもの成長に資する使命感や責任感の深い自覚</li> <li>・よりよい学校教育の実現に向けた努力</li> </ul>	2 学 校 経 営 者 と し て の 専 門 性 ( 経 営 ・ 組 織 マ ネ ジ メ ン ト )	学校経営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校環境の特性と課題の把握、学校運営のビジョンの明示</li> <li>・学校評価を分析して学校運営のビジョンとスクールプランを策定する力</li> <li>・スクールプランを実現する具体的な方策の決定</li> <li>・組織運営に関わる内部及び外部環境の把握と強みを生かした戦略的な組織づくり</li> <li>・一人ひとりの教職員が意欲をもって活動できる機会の構築、適性に応じた職務の分掌による組織運営</li> <li>・福井型コミュニティスクールによる地域と連携した学校づくり</li> <li>・子どもの個性、特性に応じた指導、支援を徹底する組織づくり</li> <li>・特別支援教育のコーディネート力を高め、組織的なインクルーシブ教育の推進</li> </ul>
	倫理観 人間性 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな人間性、広い視野、高い人権意識の醸成</li> <li>・子どもや教職員の示範となる言動</li> <li>・子ども、家庭、地域社会などとの信頼関係の構築</li> </ul>		教職員理解 人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の資質・能力や適性の把握と的確な勤務管理</li> <li>・目標管理票と面談、報告・連絡・相談を通じた教職員の現状の把握と業務に対する的確な指導</li> <li>・教職員のモチベーションや新しいアイデア等の学校運営への活用</li> <li>・教職員とのコミュニケーションと同僚性、協働性を高める人材育成</li> </ul>
	判断力 学び続ける力 探究心	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明確な教育理念と省察による自己の職能の成長</li> <li>・正確で迅速な情報収集、状況把握、的確な判断を行う力</li> <li>・教育情報や国の動向、時代の流れの的確な把握</li> </ul>		学校安全 危機管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全な環境での教育活動の展開</li> <li>・学校安全マニュアルの遵守、施設の点検、安全管理の検証、徹底</li> <li>・危機管理マニュアルに基づき、トップリーダーとして校内組織と関係諸機関との連絡、調整</li> <li>・地域社会との協力関係の構築、危機管理体制の整備</li> </ul>
	創造的に思考する力 コミュニケーション力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い教養と高い専門性、幅広い視点で、新たなものを創造する力</li> <li>・教職員との日常的な意見交換や情報共有をもとにしたよりよい民主的な職場環境の構築</li> </ul>		財務管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の実態に応じた計画的な教育環境整備と設備・備品等の充実</li> <li>・事務職員と連携した予算の適性で計画的な執行管理</li> </ul>
				家庭や地域社会との連携・折衝	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールプランや学校評価の家庭や地域社会への効果的な発信と意見集約</li> <li>・家庭や地域社会の学校への期待、関心の把握と教育活動への活用</li> <li>・地域の教育資源の積極的な活用</li> </ul>

## 2 平成30年度 福井県教員研修のポイント

### (1) 基本研修・職務研修

#### ○研修内容の充実

- ・福井県教員育成指標を踏まえて、すべての教員が研修を効率的かつ効果的に受講して継続的に学び続けることを支援し、資質・能力を向上
- ・今日的課題への対応力の強化をねらい、福井県の子どもの実態を踏まえた生徒理解に基づく学級経営等の研修を各世代に配置（1年目・2年目研修、中堅教諭等研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、教育庁各課の研修）
- ・危機管理の研修を充実（ミドルリーダー研修、マネジメント研修、新任教頭・新任校長研修）
- ・基本研修における選択式教科別研修内容を見直し、全ての専門教科に対応（教科別研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、教育庁各課の研修）

#### ○研修の効率化を推進

- ・通信型研修のレポート課題を精選し、レポートを活用した研修を充実（初任者研修）

### (2) 学校内研修

#### ○学校内での研修を充実

- ・集合研修は効率化する一方で、OJTにより指導力を向上（中堅教諭等研修Ⅰ・Ⅲ、ミドルリーダー研修）
- ・学校内研修のリーダーの養成のために通信型研修や遠隔授業・研修システムを活用した学校別協議を充実（マネジメント研修）

### (3) 通信型研修(遠隔授業・研修システム)

#### ○効率的に研修を実施

- ・集合研修の一部について、遠隔授業・研修システムを利用して嶺南教育事務所と双方向で実施し、嶺南等からの参加者の負担を軽減するとともに、各学校に対して配信
- ・遠隔授業・研修システムの操作手順や活用方法に関する通信型研修を配信し、各学校においてより積極的に円滑な活用を支援

### (4) 訪問型研修

#### ○学校への訪問指導を強化

- ・学級経営に関する計画訪問や、学校の要請に応じた教育相談のケース会議を実施し、チームによる支援を充実
- ・研究所と県教委、市町教委が連携してブロック別に小中学校を訪問し、優れた教材や指導方法を紹介。課題のある学校に対し継続的な指導を実施
- ・高校の学力到達度確認テストの分析結果をもとに各高校の教科ごとの授業改善を支援
- ・小学校英語の教科化に向けて指導案や教材を作成し、計画的に学校訪問を実施し指導助言

### (5) 自主研究

#### ○自主研究への支援を充実

- ・自主研究活動や教科研究会などへの支援を充実し、校内での研修を活発化

### (6) 研修の受講

#### ○研修受講履歴を管理

- ・研修講座申込システムで各教員が直接研修講座の受講を申し込み、教育総合研究所や嶺南教育事務所などが実施する研修の受講実績を管理し、キャリアに応じた適切な研修の受講を促進

### 3 基本研修・職務研修

研修名		日数	対象者
若手 教員 研修	初任者研修	14日	平成30年度に採用された教諭
	2年目研修	5日	平成29年度に採用された教諭
	3年目研修	3日	平成28年度に採用された教諭
中堅 教諭 等 資質 向上 研修 I ・ II ・ III	① 免許状更新講習に読替可能な研修	3日	平成30年度に免許状更新を行う教諭
	② ①以外の研修	5日	平成30年度に初めて免許状更新を行う教諭 ※旧10年経験者研修を未修了の教諭は、研修受講実績等により対象となる。
	③ ①と②を合わせた全日程	8日	①と②の両方に該当する教諭
ミドルリーダー養成研修		2日	平成30年度に39歳になる教諭 ※ただし、学校長の判断で受講時期は39歳を含む3年(39、40、41歳)内で選択できるものとする。
マネジメント研修		2日	研修の受講を希望する者で、市町教育委員会または県立学校の管理職より推薦を受けた40歳代から50歳代前半の教諭
新任教頭研修		5日	平成30年度の新任教頭
新任校長研修		3日	平成30年度の新任校長

幼稚園・認定こども園新採用教員研修(10日)

臨時任用講師研修(9日)は、平成30年度も継続実施

(注)免許状更新に必要な30時間の講習のうち、30年度に県が行う免許状更新講習は、必修6時間、選択必修6時間、選択6時間、計18時間(3日分)。残り12時間は、大学等で受講することとなるため、各自大学等に手続きが必要

(注)上記の日数は教育総合研究所が実施する研修の日数であり、研修によっては上記以外に学校内での研修の実施を要するものもある。

## 初任者研修

### (1) 目的

教育公務員特例法第23条に基づき、職務の遂行に必要な事項に関する実践的指導力を養うとともに、教員としての使命感や幅広い知見を養う。

### (2) 福井県教員育成指標との関連<第1ステージ>

- ・教員としての基盤を固めるスタートとして、豊かな人間性などの素養と共に学習指導や生徒指導等に関する高い専門性、マネジメント・人材育成や連携・協働など、教員として求められる多様な資質・能力の基礎を、研修を通して実践的に身に付けられるようにする。

### (3) 改善点

- ・通信型研修のレポートを活用し、グループ協議を充実する。
- ・研修の効率化を図るために、通信型研修のレポートを精選する。
- ・受講者の負担軽減のために、宿泊研修の一部を廃止する（幼稚園）。

### (4) 対象者

- ①平成30年度に採用された小学校、中学校、高等学校および特別支援学校の教員
- ②平成30年度当初の公・国・私立幼稚園ならびに認定こども園等の新規採用教員および平成29年度途中における公・国・私立幼稚園ならびに認定こども園等の新規採用教員

### (5) 内容

#### ①小学校

研修内容	指標で求められている 資質・能力
第1日 4月2日(月) ・教職員の服務 ・研修ガイダンス 通信型研修「学級づくりシリーズⅠ」	素養 マネジメント
第2日 5月9日(水) ・授業づくり①(授業自己評価・白川文字学) ・保護者対応と関係づくり ・今日的課題(学級経営とソーシャルスキル) ・特別支援教育の基礎(発達障害への対応) ・メンタルケア(メンタルヘルス相談員と連携①) 通信型研修「保護者との関係づくり」	学習指導 素養 マネジメント 生徒指導 連携・協働 連携・協働
第3日 5月10日(木) ・小学校英語教育のねらいと内容 ・生徒指導(児童理解・自殺防止) ・人権教育(同和教育・いじめ防止) ・健康安全教育(安全管理・食育) 通信型研修「人権教育」	学習指導 生徒指導 マネジメント 素養

第4日 5月24日(木)嶺北 5月22日(火)嶺南	・教育課程 ・教科別研修Ⅰ(国・算・社・理)	学習指導 連携・協働	
	通信型研修「小学校外国語活動の授業づくり」	学習指導	
第5日 各自設定	通信型研修「授業のユニバーサルデザイン」 通信型研修「道德教育の基礎」	学習指導	
第6日 6月12日(火)嶺北 6月13日(水)嶺南	・学級経営基礎(学級づくり)	マネジメント	
第7日 7月27日(金)	・体育に関する安全管理と指導	学習指導	
	通信型研修「情報セキュリティの基礎」	マネジメント	
第8日 8月2日(木)	・教職員のメンタルヘルス ・授業実践研究① 授業実践グループ協議 ・集団宿泊指導 ・メンタルケア(相談員と連携②)	宿泊(奥越)	素養 学習指導 生徒指導 連携・協働
	第9日 8月3日(金)		・福井の自然教育 ・授業づくり② ・学校ケーススタディ 通信型研修「キャリア教育の基礎」
第10日 11月8日(木)、 15日(木)、22日(木) 29日(木) より1日選択	・授業実践研究② 世代を越えたグループ協議(1・2・3年目の教員)	学習指導 マネジメント 連携・協働 素養	
	通信型研修「授業の見取りの基礎基本」	学習指導	
第11日 1月24日(木)嶺北 1月17日(木)嶺南	・教育相談とカウンセリング ・メンタルケア(相談員と連携③) *幼稚園・認定こども園新規採用教員とのクロスセッション(嶺北)	生徒指導 マネジメント 連携・協働 素養	
	通信型研修「不登校の理解と対応」	生徒指導	
第12日 1月29日(火)、31日(木) 2月7日(木)、12日(火) より1日選択	・授業実践研究③ 世代を越えたグループ協議(1・3・中堅の教員)	学習指導 マネジメント 連携・協働 素養	
	通信型研修「見えてきた福井らしさ」	福井の力	
第13日 各自設定	・授業研究(教科)	学習指導 連携・協働	
第14日 各自設定	・授業研究(道德、特別活動)	学習指導 連携・協働	

※校内研修は週6時間以上、年間180時間以上

②中学校

	研修内容	指標で求められている 資質・能力
第1日 4月2日(月)	・教職員のサービス ・研修ガイダンス	素養
	通信型研修「授業のユニバーサルデザイン」	学習指導
第2日 5月10日(木)	・生徒指導(生徒理解・自殺防止) ・人権教育(同和教育・いじめ防止) ・健康安全教育(危機管理・食育)	生徒指導 マネジメント 生徒指導
	通信型研修「人権教育」	
第3日 5月11日(金)	・今日的課題(学級経営とソーシャルスキル) ・保護者対応と関係づくり ・授業づくり① ・メンタルケア(相談員と連携①)	マネジメント 素養 生徒指導 連携・協働
	通信型研修「保護者との関係づくり」	
第4日 5月24日(木)嶺北 5月22日(火)嶺南	・教育課程 ・教科別研修 I	学習指導
	通信型研修「教科指導」	学習指導
第5日 各自設定	通信型研修「道徳教育の基礎」 通信型「思春期・青年期の理解」	学習指導 生徒指導
第6日 6月12日(火)嶺北 13日(水)嶺南	・学級経営基礎(学級づくり)	マネジメント
	通信型研修「学級づくりシリーズ I」	マネジメント
第7日 6月28日(木)嶺北 7月5日(木)嶺南	・特別支援教育の基礎(発達障害への対応) ・部活動指導	生徒指導
	通信型研修「情報セキュリティの基礎」	マネジメント
第8日 8月2日(木)	・教職員のメンタルヘルス ・授業実践研究① 授業実践グループ協議 ・集団宿泊指導 ・メンタルケア(相談員と連携②)	素養 学習指導 生徒指導 連携・協働
	・福井の自然教育 ・授業づくり② ・学校ケーススタディ	
第9日 8月3日(金)	通信型研修「キャリア教育の基礎」	生徒指導
第10日 11月8日(木) 15日(木)、22日(木) 29日(木) より1日選択	・授業実践研究② 世代を越えたグループ協議(1・2・3年目の教員)	学習指導 マネジメント 連携・協働 素養
	通信型研修「授業の見取りの基礎基本」	学習指導

第11日 1月17日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談とカウンセリング</li> <li>・メンタルケア(相談員と連携③)</li> </ul>	生徒指導 マネジメント 連携・協働 素養
	通信型研修「不登校の理解と対応」	生徒指導
第12日 1月29日(火)、31日(木) 2月7日(木)、12日(火) より1日選択	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業実践研究③</li> <li>世代を越えたグループ協議(1・3・中堅の教員)</li> </ul>	学習指導 マネジメント 連携・協働 素養
	通信型研修「見えてきた福井らしさ」	福井の力
第13日 各自設定	・授業研究(教科)	学習指導 連携・協働
第14日 各自設定	・授業研究(道徳、特別活動)	学習指導 連携・協働

※校内研修は週6時間以上、年間180時間以上

### ③高等学校

	研修内容	指標で求められている 資質・能力
第1日 4月2日(月)	・教職員の服務 ・研修ガイダンス	素養
	通信型研修「学級づくりシリーズⅠ」	マネジメント
第2日 5月10日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導(生徒理解・自殺防止)</li> <li>・人権教育(同和教育・いじめ防止)</li> <li>・健康安全教育(危機管理・食育)</li> </ul>	生徒指導 マネジメント
	通信型研修「人権教育」	宿泊(三方)
第3日 5月11日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今日的課題(学級経営とソーシャルスキル)</li> <li>・保護者対応と関係づくり</li> <li>・授業づくり①</li> <li>・メンタルケア(相談員と連携①)</li> </ul>	
	通信型研修「保護者との関係づくり」	連携・協働
第4日 5月24日(木)	・教育課程 ・教科別研修Ⅰ	学習指導
	通信型研修「教科指導」	教科指導
第5日 各自設定	通信型研修「情報セキュリティの基礎」	マネジメント
	通信型研修「授業のユニバーサルデザイン」	学習指導
第6日 6月14日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校教育の現状と課題</li> <li>・教科指導の実際(公開授業参観等)</li> <li>・部活動</li> </ul>	連携・協働 学習指導 生徒指導
	通信型研修「キャリア教育の基礎」	マネジメント



第7日 8月2日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員のメンタルヘルス</li> <li>・授業実践研究① 授業実践グループ協議</li> <li>・集団宿泊指導</li> <li>・メンタルケア(相談員と連携②)</li> </ul>	宿泊(奥越)	素養 学習指導 生徒指導 連携・協働
第8日 8月3日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福井の自然教育</li> <li>・授業づくり②</li> <li>・学校ケーススタディ</li> </ul>		福井の力 学習指導 マネジメント
	通信型研修「変わる大学入試」		マネジメント
第9日 10月18日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育の基礎・現状と課題</li> </ul>		生徒指導 連携・協働
	通信型研修「思春期・青年期の理解」		生徒指導
第10日 11月8日(木)、 15日(木)、22日(木) 29日(木) より1日選択	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業実践研究②</li> <li>世代を越えたグループ協議(1・2・3年目の教員)</li> </ul>		学習指導 マネジメント 連携・協働 素養
	通信型研修「授業の見取りの基礎基本」		学習指導
第11日 1月17日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談とカウンセリング</li> <li>・メンタルケア(相談員と連携③)</li> </ul>		生徒指導 マネジメント 連携・協働 素養
	通信型研修「不登校の理解と対応」		生徒指導
第12日 1月29日(火)、31日(木) 2月7日(木)、12日(火) より1日選択	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業実践研究③</li> <li>世代を越えたグループ協議(1・3・中堅の教員)</li> </ul>		学習指導 マネジメント 連携・協働 素養
	通信型研修「見えてきた福井らしさ」		福井の力
第13日 各自設定	・授業実践と研究協議(指導主事訪問)		学習指導 連携・協働
第14日 各自設定	・授業実践と研究協議(指導主事訪問)		学習指導 連携・協働

※校内研修は週6時間以上、年間180時間以上

#### ④特別支援学校

	研修内容	指標で求められている 資質・能力
第1日 4月2日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員のサービス・研修ガイダンス</li> </ul>	素養
	通信型研修「授業のユニバーサルデザイン」	学習指導
第2日 4月19日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別研究のテーマ設定にむけて</li> <li>・特別支援教育概論</li> <li>・障害の理解</li> </ul>	学習指導 生徒指導

第3日 5月10日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒指導(児童生徒理解・自殺防止)</li> <li>人権教育(同和教育・いじめ防止)</li> <li>健康安全教育(危機管理・食育)</li> </ul>	宿泊(三方)	生徒指導 マネジメント
	通信型研修「人権教育」		生徒指導
第4日 5月11日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>今日的課題(学級経営とソーシャルスキル)</li> <li>保護者対応と関係づくり</li> <li>授業づくり①・メンタルケア(相談員と連携①)</li> </ul>		生徒指導 マネジメント 素養 生徒指導
	通信型研修「保護者との関係づくり」		
第5日 6月14日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>高校教育の現状と課題</li> <li>教科指導の実際(公開授業参観等)</li> <li>部活動</li> </ul>	連携・協働 学習指導 生徒指導	
	通信型研修「教科指導」		学習指導
第6日 8月2日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>教職員のメンタルヘルス</li> <li>授業実践研究① 授業実践グループ協議</li> <li>集団宿泊指導</li> <li>メンタルケア(相談員と連携②)</li> </ul>	宿泊(奥越)	素養 学習指導 生徒指導 連携・協働
	第7日 8月3日(金)		<ul style="list-style-type: none"> <li>福井の自然教育</li> <li>授業づくり②</li> <li>学校ケーススタディ</li> </ul>
			通信型研修「ソーシャルスキル教育」
第8日 9月27日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援教育に関する課題研究</li> <li>個別研究の中間報告(研究協議)</li> <li>教科指導の基礎</li> </ul>		学習指導 連携・協働
第9日 10月18日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援教育の基礎</li> <li>特別支援教育の現状と課題</li> </ul>	生徒指導 連携・協働	
	通信型研修「思春期・青年期の理解」	生徒指導	
第10日 11月8日(木)、 15日(木)、22日(木) 29日(木) より1日選択	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業実践研究②</li> <li>世代を越えたグループ協議(1・2・3年目の教員)</li> </ul>	学習指導 マネジメント 連携・協働 素養	
	通信型研修「授業の見取りの基礎基本」	学習指導	
第11日 1月17日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育相談とカウンセリング</li> <li>メンタルケア(相談員と連携③)</li> </ul>	生徒指導 マネジメント 連携・協働 素養	
	通信型研修「不登校の理解と対応」	生徒指導	
第12日	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別研究の発表と今後の課題</li> </ul>	学習指導	

第13日 1月29日(火)、31日(木) 2月7日(木)、12日(火) より1日選択	・授業実践研究③ 世代を越えたグループ協議(1・3・中堅の教員)	学習指導 マネジメント 連携・協働 素養
	通信型研修「見えてきた福井らしさ」	福井の力
第14日 各自設定	・授業実践と研究協議(指導主事訪問)	学習指導 連携・協働

※校内研修は週6時間以上、年間180時間以上

### ⑤幼稚園・幼保連携型認定こども園新規採用教員研修

	研修内容	指標で求められている 資質・能力
第1日 4月3日(火)	・研修ガイダンス ・幼児教育の方針・目標・現状と課題 ・幼稚園教諭、保育教諭としての心得	素養
第2日 5月16日(水)	・福井県保幼小接続カリキュラムについて ・教育課程と指導計画 ・絵本の選び方と読み聞かせ	学習指導 生徒指導
第3日 6月15日(金)	・幼児期に起こりやすい事故の予防と手当 ・幼児期の食育	学習指導 生徒指導
第4日 7月12日(木)	・教職員のメンタルヘルス ・グループ協議 ・運動遊びの工夫	マネジメント 学習指導
第5日 8月28日(火)	・自然を生かした遊びの工夫 ・福祉体験	学習指導 連携・協働
第6日 9月27日(木)	・音楽遊びの工夫 ・造形遊びの工夫 (事前学習)通信型研修「造形遊びの基礎」	学習指導 学習指導
第7日 10月25日(木)	・文字環境の工夫 ・幼児の人権 ・保護者との対応と関係づくり	学習指導 連携・協働
第8日 1月24日(木)	・気がかりな幼児について ・気がかりな幼児への支援(小学校初任者とグループ協議)	生徒指導 連携・協働
第9日 各自設定	・幼稚園・認定こども園参観	学習指導 生徒指導 連携・協働
第10日 各自設定	・小学校参観	学習指導 生徒指導 連携・協働

※園内研修は年間10日

## 2 年目研修

### (1) 目的

- ・主体的・対話的で深い学びを実践するための指導力の向上を図る。
- ・教員として必要な幅広い視野と、多様なものの見方や考え方を身に付ける。

### (2) 福井県教員育成指標との関連<第1ステージ>

- ・教員としての基盤を固めるために、豊かな人間性などの素養と共に、学習指導や生徒指導等に関する高い専門性、マネジメント・人材育成や連携・協働など、教員として求められる多様な資質・能力の基礎を、研修を通して実践的に身に付けられるようにする。

### (3) 改善点

- ・学級経営の研修を生徒理解を深める内容で、集合研修として実施する。
- ・授業実践研究③は、学習指導の専門性をより高めるために、同校種や同教科での研修とする。

### (4) 対象者

- ・平成29年度に採用された小学校、中学校、高等学校および特別支援学校の教員で、初任者研修を受講したもの。

### (5) 内容

	研修内容	指標で求められている 資質・能力
<b>第1日</b> 4月24日(火)嶺北 4月25日(水)嶺南	・学級経営 ・生徒理解 通信型研修「学級づくりシリーズⅡ」を事前に視聴	生徒指導 マネジメント
	・授業実践研究①「授業実践研究の意義」 主体的・対話的で深い学びの視点を取り入れた授業方法について学ぶ	学習指導
<b>第2日</b> 各自設定	<b>【小学校】教科別研修Ⅱ</b> ・書写、音楽、図工、家庭から1講座選択 <b>【中・高】</b> 主体的・対話的で深い学びの指導と評価 ・主体的・対話的で深い学びにおける評価のあり方を学ぶ(パフォーマンス評価など) <b>【特支】特別支援教育研修</b> ・特別支援教育センターの研修から1講座選択	学習指導
<b>第3日</b> 9月20日(木)嶺北 9月21日(金)嶺南	・ICT機器の活用 タブレット等のICT機器を教材作りや授業などで活用する力を養う	学習指導
	・授業実践研究② 「授業実践研究の深め方」 主体的・対話的で深い学びの視点を取り入れた授業方法について学ぶ	学習指導

<p>第4日 11月8日(木)、15日(木) 22日(木)、29日(木) より1日選択</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業実践研究③ 「今年度の間まとめ」 (世代を越えたグループ協議、1・2・3年目の教員) 授業実践を客観的な視点で問い直すことにより、実践を深める</li> <li>・通信型研修「アクティブ・ラーニング(主体的・対話的で深い学び)講座[入門編]」</li> </ul>	<p>学習指導 マネジメント 連携・協働 素養</p>
<p>第5日 各自設定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア活動(1日) 各自がボランティアの場所、日時を設定して実施</li> </ul>	<p>素養 連携・協働</p>

## 3 年目研修

### (1) 目的

- ・専門的な教科指導力と授業力の向上を図る。
- ・時代に即した教育課題に取り組み、変化への対応力を育む。

### (2) 福井県教員育成指標との関連<第1ステージ>

- ・教員としての基盤を強固にするために、豊かな人間性などの素養と共に、学習指導や生徒指導等に関する高い専門性、マネジメント・人材育成や連携・協働など、教員として求められる多様な資質・能力の基礎を、研修を通して実践的に身に付けられるようにする。

### (3) 改善点

- ・授業実践研究②は、小・中・高等学校所属の受講者は教育総合研究所または嶺南教育事務所で、特別支援学校所属の受講者は特別支援教育センターまたは嶺南教育事務所でクロスセッションを行う。

### (4) 対象者

- ・平成28年度に採用された小学校、中学校、高等学校および特別支援学校の教員で、2年目研修を受講したもの。

### (5) 内容

研修内容	指標で求められている 資質・能力
第1日 4月25日(水)嶺北 4月24日(火)嶺南 ・授業実践研究① 「前年度のまとめと今年度の概要」 (校種、教科ごとにグループ協議) 昨年度の授業実践の振り返りを通して、今年度の課題を明確化する ・講義(校種別研修) 「小学校英語の授業づくり」(小) 学習指導要領の改訂による外国語活動の導入や英語の教科化について理解し、授業実践について学ぶ 「授業力向上研修」(中・高) 主体的・対話的で深い学びの視点を取り入れた授業づくりについて学ぶ 「児童・生徒の行動理解」(特) 特別支援学校の子どもたちがもつ様々な行動の特性を理解し、個々の子どもたちに対応する方法を学ぶ。	学習指導 マネジメント 連携・協働 素養 生徒指導
通信型研修「小学校外国語活動の授業づくり」(小)	学習指導

<p>第2日 11月8日(木)、15日(木) 22日(木)、29日(木) より1日選択</p>	<p>・授業実践研究② 「今年度の中間まとめ」 (世代を越えたグループ協議、1・2・3年目の教員) 授業実践を客観的な視点で問い直すことにより、実践を深める</p>	<p>学習指導 マネジメント 連携・協働 素養</p>
<p>第3日 1月29日(火)、30日(木) 2月7日(木)、12日(火) より1日選択</p>	<p>・授業実践研究③ 「3年間の総まとめ」 (世代を越えたグループ協議、1・3・中堅の教員) 授業実践を伝え合い聴き合うこと通し、世代を越えた多様な 視点から問い直すことにより、教師自身の実践を深める</p>	<p>学習指導 マネジメント 連携・協働 素養</p>
	<p>通信型研修「アクティブ・ラーニング（主体的・対話的で深い学び）講座〔授業づくり編〕」</p>	<p>学習指導</p>
	<p>通信型研修「学級づくりシリーズⅢ」</p>	<p>マネジメント</p>



## 中堅教諭等資質向上研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

### (1) 目的

- ・教育公務員特例法第24条の改正に基づき、中堅教諭として、教育活動その他の学校運営の円滑かつ効果的な実施において、中核的な役割を果たすことへの意識の向上を図る。
- ・ふくい教員として、職務を遂行する上で必要とされる資質・能力の向上を図る。

### (2) 福井県教員育成指標との関連

中堅教諭等資質向上研修Ⅰ(30歳代)・Ⅱ(40歳代)〈第2ステージ〉

- ・中堅教員・ミドルリーダーとして教育活動を牽引するために、若手教員等と積極的に関わり、チームの中核となって協働して課題に対応する力を実践的に身に付けられるようにする。

中堅教諭等資質向上研修Ⅲ(50歳代)〈第3ステージ〉

- ・経験を生かして中堅教員や若手教員に対して指導・助言し、組織的な運営をするために、チームの中心となって学校経営に積極的に関わる力を身に付けられるようにする。

### (3) 改善点

- ・選択式教科別研修内容を見直し、全ての専門教科に対応
- ・永平寺座禅研修の実施日程、内容と方法を見直し、精神修養の充実を図る。

### (4) 対象者および受講日数

- ・幼稚園、認定こども園、小学校、中学校、高等学校および特別支援学校の教諭・助教諭のうち、次に該当する教諭等が対象となる。

#### ① 免許状更新講習に読替可能な研修(3日)の対象者

- ・平成30年度に、免許状更新を行う教諭等。

#### ② 免許状更新講習に読替可能な研修以外の研修(5日)の対象者

- ・平成30年度に、初めて免許状更新を行う教諭等。ただし、若手教員研修を修了していない場合や、中堅教諭等資質向上研修(5日分)または10年経験者研修を修了している場合は対象外となる。

- ・若手教員研修を修了しているが、中堅教諭等資質向上研修(旧10年経験者研修)を未修了の教諭等のうち、採用から休業等も含めて10年以上経過している教諭等。

#### ③ 中堅教諭等資質向上研修の全日程(8日)の対象者

- ・①と②の両方に該当する教諭等

### (5) 認定単位(免許状更新講習)

- ・免許状更新に必要な30時間(必修領域6時間、選択必修領域6時間、選択領域18時間)のうち、必修領域6時間、選択必修領域6時間、選択領域6時間について教育総合研究所および義務教育課で講座を開設する。
- ・なお、残りの12時間はそれぞれの教員が大学等で受講することとする。

(6) 研修日程・会場

<第1日目>

- ・平成30年5月15日(火)、16(水)、17(木)：教育総合研究所  
3日のうち指定された1日

<第2日目>

- ・教科別研修Ⅲおよび教育庁各課研修、特別支援教育研修から6時間分を受講

<第3～5日目>

- ・平成30年 7月23日(月)～平成30年 7月25日(水)：教育総合研究所
- ・平成30年 8月 7日(火)～平成30年 8月 9日(木)：教育総合研究所
- ・平成30年 8月15日(水)～平成30年 8月17日(金)：嶺南教育事務所
- ・平成30年 8月22日(水)～平成30年 8月24日(金)：教育総合研究所
- ・平成30年12月25日(火)～平成30年12月27日(木)：教育総合研究所

※第5日目については、次の義務教育課実施研修の受講に代えることができる。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校学級担任英語研修(1日を選択) 嶺北会場 平成30年8月7日(火)、8日(水) 嶺南会場 平成30年8月1日(水)</li> <li>・教育相談担当教員養成研修(6時間分を読み替え) 嶺北会場 平成30年8月2日(木)～平成30年8月3日(金) 嶺南会場 平成30年7月30日(月)～平成30年7月31日(火)</li> </ul>
---

<第6日目>

- ・平成31年2月7日(木)、14日(木)、21日(木)、28日(木)から1日選択

<第7～8日目>

- ・社会体験研修〔A異業種体験・B永平寺座禅〕(各自設定)

(7) 内容 ※第3日～第5日は、免許状更新講習に読替可能な研修

	研修内容	指標で求められている 資質・能力
第1日 5月15日(火) 5月16日(水) 5月17日(木) 3日のうち、指定された1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 服務規律</li> <li>・ ICT機器の活用 タブレット等のICT機器を教材作りや授業などで活用する力を養う</li> <li>・ ファシリテーションの意義と方法 主体的・対話的で深い学びの視点を取り入れた授業を行う上で、必要となるファシリテーション力を養う</li> </ul>	素養 学習指導
第2日 各自選択	<ul style="list-style-type: none"> <li>【小学校】教科別研修Ⅲおよび教育庁各課研修(6時間) ・ 国語、算数、理科、社会などの研修から1講座選択</li> <li>【中・高】教科別研修Ⅲおよび教育庁各課研修(6時間) ・ 各自の専門教科の研修を1講座選択</li> <li>【特支】特別支援教育研修および教育庁各課研修(6時間) ・ 特別支援教育に関する研修から1講座選択</li> </ul>	学習指導 生徒指導

<p>第3日</p> <p>免許状更新講習の5日程から1つを選択</p> <p>7月23日(月)、8月7日(火) 8月15日(水)、8月22日(水) 12月25日(火)</p>	<p>教育実践と教育改革Ⅰ「これからの教育を学ぶ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国の教育政策や世界の教育の動向</li> <li>・子どもの変化と発達(生徒理解)</li> <li>・実践の展開の道筋をたどる視点と方法(世代別グループ協議)</li> </ul>	<p>素養</p> <p>学習指導 生徒指導 マネジメント 連携・協働</p>
<p>第4日</p> <p>免許状更新講習の5日程から1つを選択</p> <p>7月24日(火) 8月8日(水) 8月16日(木) 8月23日(木) 12月26日(水)</p>	<p>教育実践と教育改革Ⅱ(年代別研修)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各年代に求められる次のテーマについて、実践報告を読み解き、その実践をグループ協議で説明、実践を振り返りながらまとめる</li> <li>・同世代と語り合いながら授業改善・個別支援等の視点を学ぶ</li> </ul> <p>テーマ1(30歳代受講者対象) 「主体的・対話的で深い学びの視点を取り入れた授業づくりを学ぶ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的な学びを導くカリキュラムデザインの考え方、評価の方法</li> </ul> <p>テーマ2(40歳代受講者対象) 「気がかりな子どもへの組織的な支援を学ぶ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級経営や特別に支援の必要な子どものチームでの指導等</li> </ul> <p>テーマ3(50歳代受講者対象) 「学校マネジメントを学ぶ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営に関する教育実践、学校運営への関わり方</li> </ul>	<p>素養</p> <p>学習指導 生徒指導 マネジメント 連携・協働</p>
<p>第5日</p> <p>免許状更新講習の5日程から1つを選択</p> <p>7月25日(水) 8月9日(木) 8月17日(金) 8月24日(金) 12月27日(木)</p> <p>または、義務教育課が実施する研修から1日(6時間分)を読替</p>	<p>教育実践と教育改革Ⅲ「教育実践を深める」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実践の歩みを記録することの意味</li> <li>・自分自身の実践経験の歩みをたどり直す</li> <li>・教師の成長に関する課題の確認・整理</li> </ul> <hr/> <p>&lt;義務教育課が実施する免許状更新講習&gt;</p> <p>(ア)研修名 小学校学級担任英語研修(1日を選択)</p> <p>日 程 &lt;嶺北会場&gt;平成30年8月7日(火)、8日(水) &lt;嶺南会場&gt;平成30年8月1日(水)</p> <p>(イ)研修名 教育相談担当教員養成研修(6時間分を読替)</p> <p>日 程 &lt;嶺北会場&gt;平成30年8月2日(木)～3日(金) &lt;嶺南会場&gt;平成30年7月30日(月)～31日(火)</p> <p>内 容 &lt;1日目&gt;信頼関係をつくるカウンセリング &lt;2日目&gt;チーム支援の考え方と進め方</p>	<p>素養</p> <p>学習指導 生徒指導 マネジメント 連携・協働</p> <p>学習指導 生徒指導 連携・協働</p>
<p>第6日</p> <p>1月29日(火) 1月31日(木) 2月7日(木) 2月12日(火) より1日選択</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育実践研究「教育実践研究のまとめ」 (世代を越えたグループ協議、1・3・中堅の教員)</li> </ul> <p>実践を伝え合い聴き合うことを通し、世代を越えた多様な視点から問い直すことにより、教師自身の実践を深める</p> <hr/> <p>通信型研修「ファシリテーションの基礎」</p>	<p>学習指導 マネジメント 連携・協働</p> <p>素養</p> <p>マネジメント 連携・協働</p>

第7日、第8日 各自設定	・社会体験研修(2日間) A異業種体験またはB永平寺座禅から選択	素養 連携・協働
-----------------	-------------------------------------	-------------

※校(園)内研修は年間10日以上

## ミドルリーダー養成研修

### (1) 目的

- ・校内研修においてOJTを推進するスキルを育成する。
- ・実践に関する情報を共有し、自身の実践に活用できるスキルを育成する。
- ・校内の組織を活用してOJTを進めることにより、教員間の協働意識を高める。

### (2) 福井県教員育成指標との関連<第2ステージ>

- ・中堅教員・ミドルリーダーとして教育活動を牽引するために、若手教員等と積極的に関わり、チームの中核となって協働して課題に対応する力を実践的に身に付けられるようにする。

### (3) 改善点

- ・教科指導だけでなく、生徒理解として「発達障害をかかえる子どもへのチーム支援」について研修し、受講者の意識を高める。

### (4) 対象者

- ・平成30年度に年齢が39歳になる教諭（昭和54年4月2日～昭和55年4月1日生）  
※ただし、学校長の判断で受講時期は2年間(41歳まで)延期可能

### (5) 内容

研修内容	指標で求められている 資質・能力
第1日 5月18日(金) <ul style="list-style-type: none"> <li>・講義、演習「校内研修におけるOJTの組織作り」 校内研修を通しての人材育成 メンター機能のある組織作り 所属校における現状と課題の把握について</li> <li>・講義、演習「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善について」 主体的・対話的で深い学びの授業改善ポイント</li> <li>・講義、演習「発達障害をかかえる子どもへのチーム支援について」 発達障害を抱える子どもの現状について 具体的なチーム支援のあり方について</li> <li>・教育実践研究①「所属校における現状と課題の把握について」</li> </ul>	マネジメント 連携・協働 素養 学習指導 生徒指導
(事前研修)通信型研修「効果的な校内研修を目指して」	マネジメント 連携・協働
第2日 2月6日(水) <ul style="list-style-type: none"> <li>・講義、演習「校内研修OJTのPDCAサイクル」</li> <li>・教育実践研究②「所属校における校内 OJTの実践事例報告」</li> </ul>	マネジメント 連携・協働 学習指導 素養

※校内研修は年間3日

## マネジメント研修

### (1) 目的

- ・学校経営の理論やそれに基づいたビジョンを理解し、その改善のための方法を学ぶ学校組織マネジメントと、教育課程を編成し改善するスキルを高めるためのカリキュラム・マネジメントに関する研修を行うことで、中堅教諭等が管理職を目指す上で必要な資質・能力を高めることを目的とする。

### (2) 福井県教員育成指標との関連<第3ステージ>

- ・ミドルリーダーとしての経験を生かして指導・助言し、組織的な運営をする立場であるため、学校の実態把握や方策の提案など、組織運営についての専門性と実践力を身に付けられるようにする。

### (3) 改善点

- ・講義・演習から受講後の遠隔授業研修システムを活用した学校別協議までの流れを重視し、受講者へのフォローアップを充実する。
- ・実践プランの作成をスクールプランの作成とすることで、一律の様式に落とし込んで比較しやすくする。

### (4) 対象者

- ・研修の受講を希望する者で、市町教育委員会または県立学校の管理職より推薦を受けた40歳代から50歳代前半の教諭

### (5) 内容

	研修内容	指標で求められている資質・能力
第1日 8月6日(月)	(事前研修)通信型研修「学校組織マネジメント」 (事前課題)作成	マネジメント
	・講義、演習「組織の活性化に向けた学校組織マネジメントの活用」 内外環境の把握と特色づくり 学校経営のビジョン作りとその具現化 所属校のスクールプランの検討と意見交換	マネジメント 連携・協働
	(事後課題) スクールプラン作成	マネジメント
第2日 10月10日(水)	(事前研修)通信型研修「カリキュラム・マネジメントの基礎」 (事前課題)作成	マネジメント
	・講義、演習「教育目標実現のためのカリキュラム・マネジメント」 各学校の教育目標実現のための、学習指導要領等に基づいた教育課程の編成や、その実施・評価、改善について 教育課程全体を通しての取り組み 学校全体としての取組 「主体的・対話的で深い学び」の視点と連動させた学校経営の展開	マネジメント 連携・協働
	(事後課題) 社会に開かれた教育課程の実践プラン作成	マネジメント

- ・遠隔授業・研修システムを活用し、受講者に対する指導・助言や学校別協議を実施する。
- ・各校での実践については1月末に報告書を提出して、成果の発表を2月に行う。

## 新任教頭研修

### (1) 目的

- ・評価者として教頭に求められる資質能力の向上を図る。
- ・ケース演習を通して実践的なマネジメント手法を学び、学校経営力の向上を図る。
- ・ファシリテーターの経験を通して、傾聴の技術と大切さを学ぶ。

### (2) 福井県教員育成指標との関連＜管理職＞

- ・トップリーダーとして教育活動を推進する立場であるため、コミュニケーション力などの素養と学校経営者としての専門性を、研修を通して実践的に身に付けられるようにする。

### (3) 改善点

- ・昨年までの内容に「実行」と「判断」を追加し、一連のプログラムを学ぶ。

### (4) 対象者

- ・平成30年度 公立小学校・中学校・県立学校の新任教頭

### (5) 内容

研修内容	指標で求められている 資質・能力
第1日 4月20日(金) <ul style="list-style-type: none"> <li>・教頭に期待すること(講話)</li> <li>・教頭としての実務</li> <li>・目標管理・人事評価の考え方と進め方 面談の行い方や評価する視点について学ぶ</li> </ul>	素養 マネジメント
(事前研修)通信型研修「目標管理の基礎」	マネジメント
第2日 7月31日(火) <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい時代に対応するための学校管理職マネジメント① ～情報収集・分析・構想～ 学校の現状・問題を明らかにし、「ありたい姿」(目的・目標)を描く ために必要な力を高める</li> </ul>	マネジメント
第3日 11月30日(金) <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい時代に対応するための学校管理職マネジメント② ～企画・実行・判断～ 「ありたい姿」に向けた方策を「企画」する際、出された案を「検討」 「改善」し、「決定」するための考え方や観点、方策を「実行」する にあたり、周囲を巻き込みながら効果的に実行していくために必要な ステップ、日常の問題状況に対して、健全な「判断」を下すために必要 な視点や考え方を学ぶ</li> </ul>	マネジメント
第4・5日 7・8・12月 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ファシリテーター 免許状更新講習のグループ協議でファシリテーターを務める</li> </ul>	マネジメント



## 新任校長研修

### (1) 目的

- ・学校経営ビジョンの立て方や共有化など、学校改善に向けての戦略を学ぶ。
- ・カリキュラム・マネジメントに関する専門的な知識を習得し、実践的な学校経営力を育成する。
- ・魅力ある学校づくりのための具体的な実践や危機管理について学び、多様な視点で対応できるようにする。

### (2) 福井県教員育成指標との関連＜管理職＞

- ・トップリーダーとして教育活動を推進する立場であるため、創造的に思考する力などの素養と学校経営者としての専門性（カリキュラム・マネジメントやリスクマネジメントなど）を、研修を通して実践的に身に付けられるようにする。

### (3) 改善点

- ・危機管理についての研修を充実する。
- ・校長OBとのグループ協議を実施する。

### (4) 対象者

- ・平成30年度 公立小学校・中学校・県立学校の新任校長

### (5) 内容

研修内容	指標で求められている 資質・能力
第1日 4月17日(火) <ul style="list-style-type: none"> <li>・校長に期待すること(講話)</li> <li>・学校経営ビジョンの作成と共有 学校経営ビジョンを立てる際のポイントや職員への共有化、学校改善のための手法を学ぶ</li> <li>・教職員人事評価制度の概要と目標管理</li> </ul> (事前研修)通信型研修「学校組織マネジメントの基礎」	素養 マネジメント
第2日 6月8日(金) <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育の充実「様々な子どもの理解と対応」</li> <li>・カリキュラム・マネジメントによる学校改革 教育課程におけるPDCAサイクルの確立のためのカリキュラム</li> <li>・教職員人事評価の運用と留意点</li> </ul>	マネジメント
第3日 7月27日(金) <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校組織の活性化と危機管理のポイント 校長経験者から、魅力ある学校づくりのための具体的な実践や危機管理のあり方を学ぶ</li> </ul>	マネジメント

## 4 基本研修で実施する教科別研修および通信型研修

### (1) 教科別研修

区分	教科	研修講座タイトル	受講対象者			所管	
			初任者研修	2年目研修	資質向上研修 中堅教諭等	教育総合 研究所	嶺南教育 事務所
教科別研修Ⅰ	各教科	校種別教科研修	○				
教科別研修Ⅱ	芸術	小・中学校国語科書写		○		<input type="checkbox"/>	
		小学校音楽科		○		<input type="checkbox"/>	
		小学校図画工作科		○		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
家庭	小学校家庭科		○		<input type="checkbox"/>		
教科別研修Ⅲ	国語	小学校国語科			○	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		中学校国語科			○	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		高等学校国語科			○	<input type="checkbox"/>	
	地歴 公民 社会	小学校社会科			○	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		中学校社会科			○	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
		高等学校地理歴史・公民科			○	<input type="checkbox"/>	
	算数 数学	小学校算数科			○	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
		中学校数学科			○	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
		高等学校数学科			○	<input type="checkbox"/>	
	理科	小学校理科			○	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		中学校理科			○	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		高等学校理科(物・化・地)			○	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	芸術	中学校音楽科・高等学校芸術科音楽			○	<input type="checkbox"/>	
		中学校美術科・高等学校芸術科美術			○	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
		高等学校芸術科書道			○	<input type="checkbox"/>	
	技術 家庭	中学校技術・家庭科(技術分野)・産業教育とものづくり			○	<input type="checkbox"/>	
		中学校技術・家庭科(家庭分野)・高等学校家庭科			○	<input type="checkbox"/>	
英語	中学校英語科			○	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
	高等学校英語科			○	<input type="checkbox"/>		

### (2) その他の講座

講座	対象者	教育総合研究所	嶺南教育事務所
複式教育	複式や少人数学級で指導している教員	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
道徳教育	道徳教育推進教師(中学校)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

- ・「□」は実施する講座 「■」は遠隔授業・研修システムによる受信予定の講座
- ・「○」は研修対象者が選択して受講するべき講座(1講座)

(3) 通信型研修

領域	講座タイトル		受講対象者										
			初任者研修				2年目研修	3年目研修	中堅教諭等資質向上研修	ミドルリーダー養成研修	マネジメント研修	新任教頭研修	新任校長研修
			小	中	高	特							
授業改善	50本	教科指導に関する研修(各教科)		○	○	●							
	G097	授業のユニバーサルデザイン	◎	◎	◎	◎				◆			
	G098	授業の見取りの基礎基本	◎	◎	◎	◎				◆			
	G080	道德教育の基礎	●	●									
	G041	小学校外国語活動の授業づくり	○					○					
	G103	アクティブ・ラーニング講座 [入門編]	◆	◆	◆	◆	◎	◆	◆	◆	◆	◆	◆
	G104	アクティブ・ラーニング講座 授業づくり編	◆	◆	◆	◆	◆	◎	◆	◆	◆	◆	◆
G095	アクティブ・ラーニングで学力改善を									◆	◆	◆	
教育相談・学級経営	G206	不登校の理解と対応	◎	◎	◎	◎						◆	
	G208	思春期・青年期の理解		◎	◎	◎							
	G204	保護者との関係づくり	○	○	○	○							
	G230	人権教育	○	○	○	○							
	G201	学級づくりシリーズⅠ	◎	○	◎								
	G202	学級づくりシリーズⅡ					○						
	G203	学級づくりシリーズⅢ						◎					
	G221	ソーシャルスキル教育				○							
	G223	福井県の学級適応感と学力											◆
情報教育	G380	情報セキュリティの基礎	●	●	●								
	G352	知ってる？ネットトラブルのこと											◆
学校改善	G551	見えてきた福井らしさ	●	●	●	●							
	G600	キャリア教育の基礎	○	○	●								
	G620	変わる大学入試			○								
	G521	ファシリテーションの基礎							◎			◆	
	G590	効果的な校内研修を目指して								○			
	G510	カリキュラム・マネジメントの基礎									○		◆
	G523	教師のメンタルヘルス										◆	
組織経営	G730	学校組織マネジメント									○		○
	G700	目標管理の基礎										○	
	G711	リスクマネジメントの基礎										◆	
	G721	教育法規の基礎入門										◆	
	G710	管理職のための教育法規											◆

◎…集合研修に置き換え、受講後は学校長にレポート提出(A4 1枚程度) ◆…受講を推奨する講座  
 ●…集合研修に置き換えるがレポート提出は不要 ○…事前教材として視聴する講座

## 5 新しい教育課題への対応

### (1) 「主体的・対話的で深い学び」に関する研修の進め方

- ①ミドルリーダー養成研修において、深い学びの視点からの授業改善の研修を実施する。受講者が各学校に戻り校内で協働して授業改善を進めることにより、学校全体に広げていく。さらに、各学校の実践事例を研修で報告し、各教員による協議を行いレベルアップしていく。

(スケジュール)

- 5月 集合研修 「深い学びの視点からの授業改善について」  
～ 校内研修 教科会、研究会、学年会等においてOJT実施  
2月 集合研修 「所属校における校内OJTの実践事例報告」

- ②若手教員の基本研修において、主体的・対話的で深い学びに関する研修を実施し、基礎を身につけさせる。若手以外の教員については、通信型研修の受講を促進する。

- 2年目研修 「深い学びの視点を取り入れた授業方法」  
3年目研修 「深い学びの視点を取り入れた授業づくり」  
中堅教諭等資質向上研修  
「教科別の深い学びの視点を取り入れた授業方法」

### (2) ICTを活用した授業づくりの研修の進め方

- ①市町への訪問研修、県立高校教員に対する集合研修

タブレットPCの市町の整備状況に合わせて、各市町教育委員会と連携し研修を実施する。

(スケジュール)

- 5～6月 ・本年度実施する市町のICT整備状況調査、市町別研修の企画
- 夏季休業中 ・ICT環境の整備が進んでいる市町から年度別に研修実施  
年間5～6市町、全市町で研修を実施する3年計画の2年目  
各学校から情報担当1名出席
- ・研修受講者が各自の学校で校内研修を実施

- ②若手教員の基本研修において、ICT機器の操作など基礎的な研修を実施する。

- 初任者研修 通信型研修による「情報セキュリティの基礎」  
2年目研修 「タブレットを活用した教材作りや授業」  
中堅教諭等資質向上研修  
「タブレットを活用した教材作りや授業」

## 6 教育庁各課の研修

No	研修名		主な研修内容	受講者	実施日数	受講人数
1	学校振興課	内定者事前研修	採用に向けての自己研鑽支援等	公立学校教員、 小・中学校事務職員内定者	4日	250
2	高校教育課	地区別人権教育研究協議会	各学校における人権教育推進のための研修	全県校長	半日 ×3日	430
3		嶺南地区県立学校人権教育担当者および小中学校福祉教員等連絡協議会	各学校における人権教育推進のための研修	嶺南	半日 ×1日	20
4		教育相談担当教員養成研修	30～40歳代の教員を対象に、学校における教育相談活動のアドバイザーを養成する研修	県立高校の30～40歳代の教員	1日と 半日 ×2日	60
5		教育相談担当者連絡協議会	県立高等学校における教育相談担当者が必要な知識と技能を習得し、各校における教育相談活動の一層の充実を図るための研修	県立学校の教育相談担当者	半日 ×3日	40
6		観光に関する教員研修会	商業科観光科目担当者を対象とした研修	全県商業科教員	半日 ×3日	10
7		主権者教育指導者研修	時事問題に関する討論型の授業や模擬議会などの実践的な学習に係る研修	全県県立学校教員	半日 ×1日	160
8		中学・高校家庭科教員研修	ライフプラン学習に関する研修	全県中・高教員	半日 ×1日	60
9		初任者研修実施校連絡協議会・中堅教諭等資質向上研修実施校連絡協議会	初任者研修・中堅教諭等資質向上研修の概要 校内研修および校外研修の内容等	全県研修実施校管理職 および初任者研修指導教員	半日 ×1日	100
10		特別支援教育教育課程研究集会	特別支援学校に係る教育課程の伝達講習会	全県特別支援学校教職員	半日 ×1日	500
11		通級指導担当教員研修	「発達障害アセスメント」や「特性に応じた学習指導法」の研修	全県通級指導教員	半日 ×6日	30
12		特別支援学校教員免許法認定講習（知的障害）	特別支援学校教員免許取得のための研修会	全県教職員	1日 ×2日	100
13		特別支援学校教員免許法認定講習（肢体不自由）	特別支援学校教員免許取得のための研修会	全県教職員	1日 ×2日	100
14		特別支援学校教員免許法認定講習（病弱）	特別支援学校教員免許取得のための研修会	全県教職員	1日 ×2日	100
15		特別支援学校教員免許法認定講習（基礎理論）	特別支援学校教員免許取得のための研修会	全県教職員	1日 ×2日	100
16		特別支援学校教員免許法認定講習（LD・重複等）	特別支援学校教員免許取得のための研修会	全県教職員	1日 ×2日	100
17		特別支援学校教員免許法認定講習（LD・重複等）	特別支援学校教員免許取得のための研修会	全県教職員	1日 ×2日	100
18		医療的ケア（特定行為従事者）教員研修	医療的ケアを担当する教員研修	全県特別支援学校教	1日 ×2日	50
19		医療的ケア学校看護師研修	医療的ケアを担当する学校看護師研修	特別支援学校に配置されている看護師	半日 ×1日	30
20		特別支援教育コーディネーター連絡協議会（特別支援学校）	特別支援教育コーディネーターの連絡会	全県特別支援学校担当教員	半日 ×2日	50
21		特別支援教育コーディネーター連絡協議会（幼小中）	特別支援教育コーディネーターの連絡会	全県幼小中担当教員	半日 ×3日	265
22		特別支援教育コーディネーター連絡協議会（中・高）	特別支援教育コーディネーターの連絡会	全県中高担当教員	半日 ×1日	115

No	研修名		主な研修内容	受講者	実施日数	受講人数
23	高校教育課	特別支援学校進路指導担当者連絡協議会	特別支援学校児童生徒に係る進路指導関係の連絡会および研修会	全県特別支援学校進路指導担当教員	半日 ×2日	11
24		教育相談担当者連絡協議会（研修会）	特別支援教育に係る個別の教育支援計画・指導計画の作成に関する研修会	全県高等学校教員	半日 ×1日	30
25	義務教育課	養護教諭・生徒指導主事・特別支援教育コーディネーター合同研修会（嶺北）	発達障害等の児童生徒理解、チーム学校の体制強化について	全県小中高特別支援学校の養護教諭、生徒指導主事および特別支援教育コーディネーター	半日 ×2日	700
26		養護教諭・生徒指導主事・特別支援教育コーディネーター合同研修会（嶺南）	発達障害等の児童生徒理解、チーム学校の体制強化について	全県小中高特別支援学校の養護教諭、生徒指導主事および特別支援教育コーディネーター	半日 ×2日	200
27		小中高生徒指導主事研修会	いじめ・不登校等の対応について	全県生徒指導主事	半日 ×1日	300
28		いじめ・不登校対策研修会	いじめ・不登校等の対応について	全県小・中学校の校長	半日 ×1日	300
29		小・中学校地区別人権教育研究協議会（福井・高志地区）	人権教育に関する講義 研究協議	嶺北	半日 ×1日	100
30		小・中学校地区別人権教育研究協議会（奥越・坂井・丹南地区）	人権教育に関する講義 研究協議	嶺北	半日 ×1日	130
31		小・中学校地区別人権教育研究協議会（嶺南地区）	人権教育に関する講義 研究協議	嶺南	半日 ×1日	75
32		スクールソーシャルワーカー事例検討会	事例検討を通じて、スーパーバイザーの指導・助言を受け、スクールソーシャルワーカーの資質向上を図る	全県	半日 ×6日	30
33		教育相談担当教員養成研修（嶺南）	教育相談活動のコーディネーターとなる資質を養成する。教育相談担当の立場にとらわれず、教育活動全体に有効な相談態度・知識・技術の習得を図る	嶺南	1日と 半日 ×2日	30
34		教育相談担当教員養成研修（嶺北）	教育相談活動のコーディネーターとなる資質を養成する。教育相談担当の立場にとらわれず、教育活動全体に有効な相談態度・知識・技術の習得を図る	嶺北	1日と 半日 ×2日	120
35		教育相談担当教員養成研修（全県）	教育相談活動のコーディネーターとなる資質を養成する。教育相談担当の立場にとらわれず、教育活動全体に有効な相談態度・知識・技術の習得を図る	全県	1日 ×1日	150
36		第1回教育相談業務担当者等研修会	大学教授等の講義およびグループ別協議	SC・SSW・電話相談員等	半日 ×1日	120
37		第2回教育相談業務担当者等研修会	大学教授等の講義およびグループ別協議	SC・SSW・電話相談員等	半日 ×1日	120
38		スクールカウンセラー配置校担当者およびスクールソーシャルワーカー担当者連絡協議会	事業の概要説明および情報交換	嶺北	半日 ×1日	120
39	スクールカウンセラー配置校担当者およびスクールソーシャルワーカー担当者連絡協議会	事業の概要説明および情報交換	嶺南	半日 ×1日	40	
40	24時間電話相談員研修会	事業の概要説明および情報交換	電話相談員	半日 ×1日	15	

No	研修名	主な研修内容	受講者	実施日数	受講人数
41	学校花壇講習会	学校花壇を推進するための栽培技術力向上に関する講義および実技研修	全県	半日 ×1日	30
42	保幼小接続研修	スタートカリキュラムについて	全県小学校教員	半日 ×1日	100
43	保幼小接続講座「生活リズムと学びの基盤作り」	学びに向かう力と家庭教育	全県保育士、幼稚園教諭、保育教諭、小学校教諭	半日 ×1日	300
44	保幼小接続講座「幼児教育から低学年教育へ～子どもの主体性を核とした植物の栽培を中心に～」	幼児期から児童期への子どもの主体性を核とした実践について	全県保育士、幼稚園教諭、保育教諭、小学校教諭	半日 ×1日	300
45	保幼小接続講座「遊びを通した総合的な指導とは」 ※県幼児教育研究会との共催	新教育要領等を踏まえた指導の在り方 幼稚園の実践研究発表	全県保育士、幼稚園教諭、保育教諭、小学校教諭	半日 ×1日	300
46	保幼小接続講座「遊び込みから学び込みへパートⅡ」	保幼小の学びと育ちをつなげる実践について	全県保育士、幼稚園教諭、保育教諭、小学校教諭	半日 ×1日	300
47	保幼小接続講座「新指導・教育要領等がめざす学びと発達段階を踏まえた学び」	これからの保育・教育でめざす学びについて	全県保育士、幼稚園教諭、保育教諭、小学校教諭	半日 ×1日	500
48	園内リーダー養成研修 1	保育の質を高める園内リーダーの役割	全県保育士、幼稚園教諭、保育教諭	半日 ×1日	100
49	園内リーダー養成研修 2	事例検討会	全県保育士、幼稚園教諭、保育教諭	半日 ×1日	100
50	園内リーダー養成研修 3	事例検討会	全県保育士、幼稚園教諭、保育教諭	半日 ×1日	100
51	園内リーダー養成研修 4	事例検討会	全県保育士、幼稚園教諭、保育教諭	半日 ×1日	100
52	園内リーダー養成研修 5	事例検討会	全県保育士、幼稚園教諭、保育教諭	市町ごと	100
53	園内リーダー養成研修 6	合同発表会	全県保育士、幼稚園教諭、保育教諭	1日 ×1日	100
54	園内リーダーフォローアップ研修 1	フォローアップ研修の進め方 自園の課題について	嶺北保育士、幼稚園教諭、保育教諭	半日 ×1日	20
55			嶺南保育士、幼稚園教諭、保育教諭	半日 ×1日	20
56	園内リーダーフォローアップ研修 2	研修報告会	嶺北保育士、幼稚園教諭、保育教諭	半日 ×1日	20
57			嶺南保育士、幼稚園教諭、保育教諭	半日 ×1日	20
58	市町幼児教育アドバイザー養成研修 1	保育の質を高める市町アドバイザーの役割	全県保育士、幼稚園教諭、保育教諭	半日 ×1日	30
59	市町幼児教育アドバイザー養成研修 2	実践研究（園内リーダー支援）	全県保育士、幼稚園教諭、保育教諭	半日 ×1日	30
60	市町幼児教育アドバイザー養成研修 3	実践研究（園内リーダー支援）	全県保育士、幼稚園教諭、保育教諭	半日 ×1日	30
61	市町幼児教育アドバイザー養成研修 4	実践研究（園内リーダー支援）	全県保育士、幼稚園教諭、保育教諭	半日 ×1日	30
62	市町幼児教育アドバイザー養成研修 5	幼児期に育成すべき資質・能力	全県保育士、幼稚園教諭、保育教諭	1日 ×1日	30
63	市町幼児教育アドバイザー養成研修 6	実践研究（園内リーダー支援）	全県保育士、幼稚園教諭、保育教諭	市町ごと	30
64	市町幼児教育アドバイザー養成研修 7	合同発表会	全県保育士、幼稚園教諭、保育教諭	1日 ×1日	30

No	研修名	主な研修内容	受講者	実施日数	受講人数
65	新規採用教員研修（保育教諭） 園外研修1	幼児教育の方針、保幼小接続カリキュラム	全県保育教諭	半日 ×1日	50
66	新規採用教員研修（保育教諭） 園外研修1	幼児教育の方針、保幼小接続カリキュラム	全県保育教諭	半日 ×1日	50
67	新規採用教員研修（保育教諭） 園外研修2	気がかりな幼児について	全県保育教諭	半日 ×1日	50
68	新規採用教員研修（保育教諭） 園外研修2	気がかりな幼児について	全県保育教諭	半日 ×1日	50
69	新規採用教員研修（保育教諭） 園外研修3	認定こども園教育・保育要領	全県保育教諭	半日 ×1日	50
70	新規採用教員研修（保育教諭） 園外研修3	認定こども園教育・保育要領	全県保育教諭	半日 ×1日	50
71	新聞を活用した教育研修会	新聞を活用した授業の改善・充実のための研修	嶺南小・中学校教員	半日 ×1日	70
72	弦楽指導者講習会Ⅰ	弦楽クラブ・部活動の運営について	全県小・中・県立校	半日 ×1日	30
73	弦楽指導者講習会Ⅱ	バイオリン・チェロ基本奏法の指導法・合奏法	全県小・中・県立校	1日 ×1日	10
74	初任者研修実施校連絡協議会  中堅教諭等資質向上研修実施校 連絡協議会	初任者研修・中堅教諭等資質向上研修の概要 校内研修および校外研修の内容等	全県【初任者研修】管理職 校内指導教員、初任者研修拠点校指導教員 【中堅教諭等資質向上研修】管理職	半日 ×1日	約200
75	吹奏楽指導者研修会	吹奏楽の合奏指導法に関する研修	全県中・高校の吹奏楽指導者	1日 ×2日	60
76	拠点校指導教員研修会	拠点校指導教員の服務および校内研修について情報交換 拠点校指導教員の指導の実際についてグループ研修	初任者研修拠点校指導教員	半日 ×1日	約60
77	初任者研修指導教員研修会	グループ別情報交換「全校体制で取り組む初任者研修の円滑な実施について」	拠点校指導教員、校内指導教員	半日 ×1日	約180
78	小学校教員指導力向上事業	小学校教員に対する理科授業力向上のための研修	全県小学校教員	半日 ×3日	210
79	道徳教育実践型集合研修（研究所と連携）	「今、求められる道徳教育」～教科化にむけた道徳教育の充実を目指して～	全県中学校 道徳推進教師及び希望者	1日 ×1日	150
80	小・中学力向上ブロック別研修会（小学校）	県教委がまとめた教材・評価問題集の活用法	全県小学校教員	半日 ×1日	約600
81	小・中学力向上ブロック別研修会（中学校）	県教委がまとめた教材・評価問題集の活用法	全県中学校教員	半日 ×1日	約300
82	小・中学力向上学校マネジメント研修会	学力向上に関する学校経営等の研修	全県小中学校管理職	半日 ×1日	約300
83	国語授業力向上研修	国語（中国語・古典・書写）の授業力向上についての研修	全県小中高教員	半日 ×2日	40～60
84	小学校学級担任対象英語研修	英語教科化に沿った指導法に関する講義・演習	全県小学校教員	1日 ×3	300
85	中高英語教員研修	指導力向上に資する研修	全県中高英語教員	半日 ×2日	103
86	発音指導法・語学番組活用法研修	NHK語学番組の活用法および英語の発音に関する知識や技能	全県小学校教員	半日 ×2日	200
87	小学校外国語教材活用研修	県作成の外国語教材の活用法	全県小学校教員	半日 ×1日	380



No	研修名	主な研修内容	受講者	実施日数	受講人数
88	書写担当教員研修（実技）	小・中学校で書写の授業を担当する教員を対象とした実技指導力向上研修	全県小・中教員	半日 ×2日	各30
89	子ども読書指導者研修会	子ども読書指導者としての指導法を学ぶ研修	全県教諭・学校司書等	半日 ×1日	各60
90	漢字指導者認定講座 （白川文字学ゼミ）	小・中・高の教員対象に、漢字や国語についての指導力育成につながる研修	全県小・中・高教員	半日 ×4日	各60
91	漢字指導者認定講座 （白川静漢字教育賞表彰式）	漢字教育賞受賞実践報告および漢字文化等に関する研修	全県小・中・高教員	半日 ×1日	100
92	人権教育指導者研修会	同和問題をはじめとする人権問題に関する講演と体験的参加型学習	国、県、市町、学校、企業、各種団体等における人権教育の指導的立場の者	半日 ×1日	嶺南 約500 嶺北 約400
93	漢字指導者認定講座 （漢字教育公開講座）	小・中・高の教員対象に、漢字や国語についての指導力育成につながる研修	全県小・中・高教員	半日 ×2日	各60
94	体育主任研修会	体育科の教育課程の編成および実施上の諸課題や体力向上、運動部活動等について協議する	全県小中学校体育主任	半日 ×3日	270
95	学校体育実技講習会	小・中・県立学校等における体育学習の考え方や進め方についての研修を深め、資質の向上を図る。	全県小・中・県立教員	半日 ×1日	70
96	県立学校保健体育科主任研修会	県立学校の保健体育科に関する研修	全県県立学校保健体育科主任	半日 ×1日	48
97	学校体育実技指導者伝達講習会	子供の体力向上指導者養成研修会（中央研修会）の県内伝達講習会	全県小・中・高保健教員	半日 ×2日	80
98	武道（剣道）指導者養成講習会	武道経験の少ない体育担当教員、部活動担当者を対象とした実技講習会（1級取得）	全県小・中・高保健教員 部活担当者	1日 ×2日	20
99	学校体育実技（武道：剣道）認定講習会	武道指導の充実を図るため、実技指導力の向上を目的とする実技講習会（段位取得）	全県小・中・高保健教員 部活担当者	1日 ×3日	20
100	武道の授業を楽しくすすめる研修講座	武道の学習指導をすすめるにあたって必要な基礎技能と知識の習得を目的とする実技研修会	全県小・中・高保健教員 部活担当者	半日 ×1日	20
101	保健主事研修会・養護教諭講習会	職務に対する専門的知識および技能を高め、今後の積極的な保健活動に資する	全県小中高教員 教育委員会	半日 ×2日	270
102	薬物乱用防止教室講習会	指導者に対して講習会を行い、学校における薬物乱用防止教室の開催を推進し、薬物乱用防止教育の一層の充実を図る	全県小中高教員 学校薬剤師	半日 ×1日	300
103	健康教育指導者研修会	健康教育委に関する諸課題への取組みについて研修し、健康教育に携わる指導者の資質向上を図る	全県小中高教員 教育委員会	半日 ×1日	300
104	防災教室講習会	教職員の防災に対する意識向上を図るための講習会	全県小中高教員 教育委員会	半日 ×1日	300
105	防犯教室講習会	教職員の防犯に対する意識向上を図るための講習会	全県小中高教員 教育委員会	半日 ×1日	300
106	交通安全教室講習会	教職員の交通安全に対する意識の向上を図る	全県小中高教員 教育委員会	半日 ×1日	300
107	スポーツ施設安全管理講習会	プールの施設面、管理・運営面で配慮すべき事項並びに監視・救助・応急手当等を含め、事故防止のためにプール管理体制のより一層の充実・強化	全県小中高教員 教育委員会	半日 ×1日	200

No	研修名		主な研修内容	受講者	実施 日数	受講 人数
108	スポーツ 保健課	給食主任研修会	「ふくいこども食育チャレンジ」の 活用及び指導方法について研修	全県小・中学校教員	半日 ×2日	270
109		栄養教諭・学校栄養職員研修会	「ふくいこども食育チャレンジ」の 実践及び普及に向けた研修	全県栄養教諭 学校栄養職員	1日 ×1日	80

## 7 自主研究活動の活発化

自主研究グループに対する支援を充実し、校内での研修を活発化

### ○自主研究グループ等に対する支援内容

- |             |       |            |
|-------------|-------|------------|
| ・教員自主研究グループ | 補助限度額 | 10万円(100件) |
| ・授業実践研究     | 補助限度額 | 20万円(12件)  |
| ・出版活動       | 補助限度額 | 40万円(2件)   |
| ・指導方法研究(※)  | 補助限度額 | 30万円(20件)  |

※対象は、小・中・高教研の教科部会

## 8 研修受講の促進

人事評価の自己研鑽項目に研修受講実績を加え、面談で受講履歴の確認を行う。また、受講対象者が必要な研修を未受講の場合は、教育総合研究所から各校長宛にそのことを通知する文書を発送する。校長は未受講者に対して面談時に受講を促す。

# 福井県教員育成指標

## 福井が求める教師像

校種・教科等に関する  
専門的知識・実践的技能  
を持った人

専門分野に偏らない幅広い教養を身につけ、  
自立した社会人としての良識や  
幅広い視野を持った人

子どもたちはもとより、同僚や家庭、  
地域社会と円滑な人間関係を築き、  
課題に対して臨機応変に対応できる人

教育に対する情熱・使命感に  
燃え、常に学び続ける  
向上心を持った人

資質・能力	ステージ	福井県が求める 採用時の姿	第1ステージ	第2ステージ	第3ステージ	ステージ	管理職 トップリーダーとして 教育活動を推進する
	資質・能力		教員としての基盤を固める	中堅教員・ミドルリーダーとして 教育活動を牽引する	経験を生かして指導・助言し、 組織的な運営をする		
素 養	教育的愛情 使命感	・教職への情熱 ・子どもに対する愛情	・教職に対する使命感、誇り、責任感 ・子どもの個性を尊重し、豊かな人間性を育む熱意	・学校教育を牽引する使命感、責任感	・組織的な運営を行う使命感、責任感 ・学校経営に積極的に参画する責任感	素 養	・将来を担う子どもの成長に資する使命感や責任感の深い自覚 ・よりよい学校教育の実現に向けた努力
	倫理観 人間性 社会性	・高い人権意識 ・豊かな人間性、広い視野 ・社会人としての一般常識	・確かな人権感覚、子どもの模範となる倫理観 ・人間的な魅力の涵養、信頼関係の構築(子ども、教職員、家庭、地域社会 など) ・謙虚な姿勢、法令の遵守、サービスの誠実かつ公正な遂行				・豊かな人間性、広い視野、高い人権意識の醸成 ・子どもや教職員の示範となる言動 ・子ども、家庭、地域社会などとの信頼関係の構築
	コミュニケーション力	・他者との意思の疎通と協働	・同僚性の構築、よりよい教育の実現に向けた教職員間の意思の疎通と共通理解、合意形成の推進 ・子ども、家庭、地域社会などとの円滑な意思の疎通				
	学び続ける力 探究心	・学びの専門家としての学び続ける意欲 ・多様な社会体験への挑戦	・自ら学び続ける基盤の構築(課題の発見・解決の努力・省察する力) ・自主的な協働研究への積極的な参画	・専門性の深化とキャリアアップ ・学校内や専門分野における研究の牽引 ・若手教員の指導への積極的な関わり	・自らの実践の深化と改善 ・学校内や専門分野の組織的な研究の運営 ・教職員の資質・能力を高める指導、助言		・明確な教育理念と省察による自己の職能の成長 ・正確で迅速な情報収集、状況把握、的確な判断を行う力 ・教育情報や国の動向、時代の流れの的確な把握
指導力	教科等の専門性	・教科等を学ぶ意義の理解 ・教科等で培う力の把握	・教科等の専門性の向上 ・教科等の多面的・多角的な視点での研究の推進 ・保・幼・小・中・高を通じた学びの接続の視点での研究の推進 ・子どもの主体的な学び、確かな学力、生きる力の追究			学校経営者としての専門性(経営・組織マネジメント)	
	授業力	・教科等の基礎的な指導力 ・主体的・対話的で深い学びへの理解 ・探究的な学びの計画、立案	・教科等の特性や本質の理解 ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた楽しくわかる授業 ・主体的・対話的で深い学びへの工夫 ・指導と評価の一体化に基づく実践 ・子どもの学びの見取りの意義と実践 ・ICT機器の積極的な活用 ・校内研究への主体的な取り組み、積極的な授業公開の実施	・省察をもとにした授業改善 ・教科等の特性や本質の追究 ・多様な授業形態の工夫 ・主体的・対話的で深い学びの実現 ・教科等横断的なカリキュラムデザイン ・校内研究の中核として授業実践を牽引 ・若手教員への授業力を高める指導、助言	・広い視野での授業改善 ・教科等の特性や本質を理解した実践 ・資質・能力を培う授業の提案 ・主体的・対話的で深い学びの深化 ・学校全体の授業力向上に係る企画 ・学校内を中心として示範となる授業実践の推進 ・校内研究の中心として組織を運営 ・学校内外の教職員への指導、助言		・学校環境の特性と課題の把握、学校運営のビジョンの明示 ・学校評価を分析して学校運営のビジョンとスクールプランを策定する力 ・スクールプランを実現する具体的な方策の決定 ・組織運営に関わる内部及び外部環境の把握と強みを生かした戦略的な組織づくり ・一人ひとりの教職員が意欲をもって活動できる機会の構築、適性に応じた職務の分掌による組織運営 ・福井型コミュニティスクールによる地域と連携した学校づくり ・子どもの個性、特性に応じた指導、支援を徹底する組織づくり ・特別支援教育のコーディネート力を高め、組織的なインクルーシブ教育の推進
	福井の教育力を支える研究・連携	・福井の教育の特長の理解 ・ふるさと福井を大切に思う心 ・小学校外国語を指導する力	・一人ひとりの子どもの力を育成するための授業の実践的研究、協働による研究体制、同僚性の構築 ・縦もち教科担任制の運営、教科の学びの系統性の構築 ・保・幼・小・中・高の接続を重視した福井型 18 年教育の推進 ・自主研究会への主体的な参画 ・教員間の世代間交流による優れた教育力の継承				学校経営
	幼児・児童・生徒理解	・子どもの理解の重要性の認識 ・子どもの発達段階への理解 ・一人ひとりに向き合う意識	・子どもの個性、特性の理解 ・認め合い高め合う学級経営の実践	・学級および学年全体の子どもの理解 ・学年の生徒指導の中核として、子どもの個性、特性に応じた諸課題への対応	・組織的な学年経営と学校全体の子どもの理解 ・子どもの個性、特性に応じた組織的な生徒指導の企画、運営		学校経営者としての専門性(経営・組織マネジメント)
マネジメント・人材育成	問題行動への対応	・個や集団への指導と手立ての理解 ・一人ひとりの子どもに寄り添う態度、子どもの声に対する傾聴 ・多様な子どもに対する寛容の心と態度	・子どもの個性、特性に応じた指導、支援 ・子どもの特性を理解した原因分析力 ・学校の生徒指導の方針に対する理解 ・報告・連絡・相談を通じたチームで対応する指導の実践 ・家庭などとの信頼関係の構築、連携・協働	・チームの中核として子どもへの適切な指導 ・子どもの個性、特性に応じた指導方針を基にチームの中核として集団を牽引 ・若手教員に対する適切な指導、支援 ・家庭、地域社会などとの信頼関係の構築、連携・協働	・チームの責任者として教職員に対する指導、助言 ・子どもの個性、特性に応じた組織的な指導方針の立案 ・チームの責任者として役割と責任を明確にした組織的な対応の企画・調整 ・速やかな情報の共有と適切な管理 ・家庭や地域、関係機関との連携・協働	教職員理解 人材育成	
	特別な配慮への対応	・特別支援教育の基本的な知識 ・発達障害に対する知識、理解	・子どもの個性、特性に応じた特別支援教育の理解、実践 ・合理的配慮に対する理解、実践	・子どもの個性、特性に応じた特別支援教育の中核として実践を牽引 ・子どもの個性、特性に応じたキャリア教育の推進	・チームの責任者として、子どもの個性、特性に応じた組織的な対応の企画・調整と教職員への指導、助言 ・関係機関と協働した課題の改善、解決	学校安全 危機管理	
	学年経営 学級経営	・理想とする学級像の形成	・学級目標の達成に向けた子どもたちの協働的な学級づくりの指導 ・スクールプランの達成に向けた教職員の協働的な実践 ・報告・連絡・相談による教職員間の協働	・学年のリーダーとして率先して協働的な活動を牽引 ・スクールプランの達成に向けて、中核として学校を牽引 ・若手教員の抱える課題の理解、支援	・学級間、学年間の連携を意識した学校経営への参画 ・スクールプランの達成に向けて学年や分掌の責任者としての組織的な運営 ・協働するネットワークの構築と指導、助言	学校安全 危機管理	
連携・協働	社会の変化への対応	・学校現場の現状の理解 ・社会情勢に対する理解	・学校の実態、社会情勢の変化、教育改革の動向に対する理解	・学校の実態、社会情勢の変化、教育改革の動向に対する具体的な方策の提案と実践	・学校の実態、社会情勢の変化、教育改革の動向に対する具体的な方策への指導、助言と組織的な実践	学校安全 危機管理	
	学校安全 危機管理	・学校安全、危機管理に関する基礎的な知識、理解	・学級や集団の適切な安全管理 ・勤務校の危機管理体制に対する理解	・学校安全、危機管理に対して中核として対処 ・適切な安全管理、結果を予測した危機管理の徹底	・チームの責任者としての学校安全、危機管理のマネジメント ・学校の事件、事故の対処と未然防止に対する教職員の指導、助言	学校安全 危機管理	
	人材育成	・様々な課題に対応する力	・学校内外の自主研究への参画	・若手教員に対する指導、助言	・校内研修、自主研究の企画、運営	学校安全 危機管理	
	組織における 協働	・仲間と協働して、創造する経験 ・協働の良さを子どもに発信する力	・教職員間の同僚性の構築 ・チームで対応することへの理解と実践	・ミドルリーダーとしての自覚と積極的な行動 ・チームの中核として教員集団を牽引してチームで対応する力を向上	・チームの責任者として同僚性が発揮できる職場環境の構築	財務管理	
福井の力	家庭や地域社会との連携	・地域社会に貢献する経験 ・地域社会の中で子どもを育成する意義の理解	・家庭、地域社会、関係機関との連携、協働のネットワークの形成 ・家庭、地域社会への積極的な情報発信と良好なコミュニケーションの構築 ・学校内外の諸活動に対する積極的な参画			家庭や地域社会との連携・折衝	
	「ふるさと福井」の教育	・「ふるさと福井」への愛着 ・福井の教育をよりよくしていく心と態度	・福井の教育の充実に向けて、「ふるさと福井」を学び続ける態度と自己啓発力の向上 ・「ふるさと福井」独自の教材づくりと活用した授業の実践(「白川文字学」「ふるさと福井の先人 100 人」「古典音読・暗唱ノート」「郷土新聞」「NIE教育」など)			家庭や地域社会との連携・折衝	